



広報 しばた



町公式LINE
友だち募集中



いい歯を保ち健康を守る

9月17日(水)、保健センターで行われた3歳6カ月児健康診査です。子どもたちの健やかな成長をサポートするため、小児科医と歯科医による診察があり、17人のお子さんが受診しました。

11月8日は、いい歯の日です。歯を大事にしましょう。

行財政適正化推進計画の

原案まとまる

1 デジタル化に向けた業務の見直し

2 事務事業の見直し・廃止

3 補助金・使用料の見直し・廃止

4 組織の再編、財源確保の強化

デジタル化社会を見据え、町から提供するお知らせについては、徐々に紙媒体からデジタル媒体にシフトし、業務の効率化や円滑化を進めます。

- ▼町長へのメッセージ用ハガキの配布を廃止し、通年でのメールや一般のハガキなどによる受け付け
- ▼広報しばたとお知らせ版を一体化しての隔月発行
- ▼回覧板による、町からの情報提供の取りやめ

社会情勢の変化を踏まえ、すでに所期の目的を達した事業、参加者が減少し、事業内容も変わらない補助事業、デジタル技術が活用できる事業について、見直しや廃止を進めます。

- ▼確定申告のデジタル化を進める中での、相談会場の見直し
- ▼狂犬病予防集団注射の廃止
- ▼むつみ学園の廃止
- ▼柴田町まちづくり推進センター「ゆる・ぷら」をしばたの郷土館へ移転



安心安全に利用するためにも

各種行事への参加者数の減少に伴う活動補助金の適正化、また、物価や燃料などの価格高騰などに伴う施設の管理コストの上昇によ

る受益と負担の公平性の観点から、使用料の見直しを進めます。

- ▼地域づくり交付金における敬老会事業の交付金算定基準を現在の75歳から80歳へ段階的に引き上げ
- ▼老人クラブなどに対する補助金の適正化
- ▼みやぎ大菊花展柴田大会事業補助金の廃止
- ▼生涯学習施設、社会体育施設・学校体育施設使用料の約20%の引き上げ、減免基準の見直し
- ▼船岡駅・槻木駅駐車場及び自転車駐車場使用料の引き上げ
- ▼国民健康保険被保険者に対する各種がん検診などへの助成金の廃止

社会情勢の変化に伴う住民ニーズに柔軟かつ迅速に対応できる組織づくりに努めるとともに、収入を増やし財政基盤を強化します。

- ▼庁舎及び各施設のスペースを活用した広告などの募集による収入の確保
- ▼未利用町有財産の売却
- ▼人件費の抑制
- ▼スポーツ振興課と生涯学習課の統合

5 働き方改革

職員の多様な働き方を可

デジタル化を見据えた行財政適正化推進計画の策定については、これまで議会や各種団体などとの間で意見調整を行ってきました。すでにこの計画の全体的な考え方については、広報しばた9月号でお知らせしたところです。計画に盛り込む項目は10分野92項目に及びます。今回、細部にわたる計画案がまとまりました。その中でも、町民の皆さまの生活に影響を及ぼす可能性の高い項目について、概要をお知らせします。

問 財政課 Tel 551-2278

能とするため、デジタル化による業務量の削減や業務プロセスの見直しによって、長時間労働やワークライフバランスの改善、働きやすい職場環境づくりに努めます。

▼時間外での電話受付時における、自動アナウンス機能及び通話の録音機能付き電話機の設置

▼窓口の受付対応時間を8時45分から16時まで短縮（令和8年度において試行的に実施）



コンビニ交付もご利用ください

6 外部団体などに対する支援の見直し

社会情勢の変化を踏まえ、改めて団体の目的、業務の執行状況や実施効果を再検証したうえで、支援のあり

方について見直しを図ります。

▼柴田町体育協会の今後のあり方

▼総合型地域スポーツクラブの法人化

▼柴田町観光物産協会の財務体質の強化

▼柴田町社会福祉協議会への補助金の見直し



観光物産交流館「さくらの里」

7 その他

今年度、すでに適正化に向けて検討などを始めている取り組みもあります。

▼生成AIの活用

▼消防団員の定数の見直し

▼社会を明るくする運動の見直し

▼集落座談会（減反説明会）の見直し

▼スポーツ賞顕彰基準の見直し

持続可能な柴田町を築くために

現在、人口減少や地域コミュニティの衰退などの地域課題に加え、デジタル化への対応も急務となっており、行政の業務量は拡大の一途をたどっています。今後とも持続可能な町政運営を行うっていくためには、効率的に効果を生む体質へ改善を図らなければなりません。

行財政適正化推進計画の策定は、その第一歩となります。

改めて、この計画については、11月に開催予定の住民懇談会での町民の皆さまのご意見を踏まえたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

まちづくり住民懇談会を開催します

少子高齢化、人口減少といった厳しい流れとデジタル化といった新しい流れが混在化する中で、柴田町が将来にわたり持続的な発展が可能となるような地方創生のあり方について話し合うとともに、今後の自治体のあるべき姿に向けて今回まとめました「デジタル化を見据えた行財政適正化推進計画(案)」に対するご意見をお伺いしたいと考えております。

多くの町民の皆さまの参加をお願いいたします。

懇談テーマ

- ① 町政報告（主な事業の実績及び進捗状況）について
- ② 「デジタル化を見据えた行財政適正化推進計画（案）」について
- ③ 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）について など

開催日時

11月14日(金)	午後6時30分から	榎木生涯学習センター	3階会議室
15日(土)	午前10時から	船迫生涯学習センター	2階会議室
	午後2時から	柴田町役場	4階多目的ホール

新ZOOMたな出会いが生まれる 賑わい交流拠点が誕生

令和9年度着工 新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用

◆ 施設整備に向けた考え方

1 出会いや交流を生み出すサードプレイス

- 人と人が出会い・交流する施設としての整備
- 自由に休むことができる多目的スペースの設置
- 子ども達が元気に遊べる屋内子ども遊び場の設置

2 歴史・文化の継承

- 後世への歴史文化遺産の継承
- 町民のシビックプライドの醸成
- 歴史文化資料のデジタルアーカイブ化

3 新たな仕事おこし

- 新たな仕事づくりやマーケットづくり
- 若者の創業支援
- カフェなどの飲食店や物販コーナーの設置

4 観光コンテンツの造成

- 体験型コンテンツの提供
- 交流人口の拡大

新たな人と人との出会いや交流を生み出す交流拠点として、しばたの郷土館が生まれ変わります。

ふるさと文化伝承館を「(仮称)まちなか交流センター」に、思源閣を「(仮称)ふるさと歴史文化ミュージアム」にリニューアルします。
令和9年度の完成を目指しています。

問 生涯学習課 TEL 55-2135

『しばたの郷土館』を リニューアルします

人口減少を見据えた 地域活性化

今、多くの自治体では、急速な人口減少と高齢化が進み、また、出生率の低下や若年層を中心に都市部への人口流出が続いており、柴田町も例外ではありません。

こうした中、町では、公園や空地、ポケットパーク、ウォーカブルな歩行空間、人と人が出会い交流するパブリックスペースなどを整備し、「花のまち柴田」をテーマに、住民と協働しながら、外と内との交流人口の拡大を通じて、地域の活性化に努めています。今後、更なる人口減少を見据えた上で、地域の活性化を図っていくためには、街なかに新たな人の流れをつくる必要があります。

これまで以上に交流人口や滞留人口を拡大し、知識情報の集積を図り融合化する中で、柴田町の魅力の再

発見や地域価値の創造につなげていきます。

新たな賑わい交流拠点の整備

町では、国の「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）」を活用し、「ふるさと文化伝承館」を、町の新たな賑わい交流拠点となる「（仮称）まちなか交流センター」としてリニューアルします。

（仮称）まちなか交流センターでは、誰もが自由に休むことができる多目的スペース兼ギャラリーホール



「（仮称）まちなか交流センター」にリニューアル予定のふるさと文化伝承館

を整備し、人とのつながりを通じて、地域コミュニティの活性化や交流人口の拡大を図ります。

また、「（仮称）屋内子ども遊び場」を整備し、天候が悪い日でも、子ども達が安心して屋内で遊ぶことができる環境を整えます。

さらに、カフェなどの飲食店や物販コーナーの設置、起業を希望する若者や女性などに対するチャレンジショップの場の提供を行うことで、新たな仕事おこしにつなげます。

歴史・文化の継承

町の歴史を語る上で欠かせない「樅ノ木は残った」や「伊達政宗騎馬像」を製作した郷土の彫刻家「小室達」氏の資料展示、日本桜の名所100選に選ばれた

「白石川堤一目千本桜」の紹介コーナー設置など、思源閣を柴田町特有の自然や歴史・文化に特化した

「（仮称）ふるさと歴史文化



「（仮称）ふるさと歴史文化ミュージアム」にリニューアル予定の思源閣（常設展示室）

ミュージアム」にリニューアルします。

柴田町ならではの自然・歴史・文化資料を映像やデジタル技術でつなぎ合わせ、わかりやすく紹介することで、子どもから大人、さらには訪日外国人など、新しい来館者が見込めます。

柴田町の生い立ちやエピソードに対する関心の高まりは、町民のシビックプライドの醸成を促し、後世に歴史・文化を継いでいく原動力になります。

◆ 主な事業の内容

① まちなか交流センター整備事業

- （仮称）屋内子ども遊び場の設置
- まちづくり推進センターの機能移転
- ギャラリーホールの整備

② ふれあい交流館整備事業

- 産業展示室・研修室にチャレンジショップを開設
- 冷暖房設備の整備

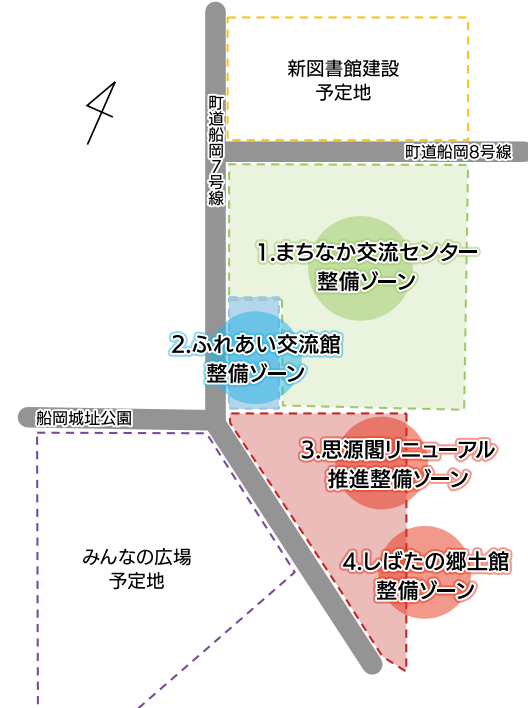
③ 思源閣リニューアル推進事業

- 思源閣を「（仮称）ふるさと歴史文化ミュージアム」にリニューアル
- 冷暖房設備の整備

④ しばたの郷土館再整備事業

- 伊達政宗騎馬像の移転

◆ ゾーニング



令和7年度上半期

予算執行状況 をお知らせします

町の財政の状況を町民の皆さんに知っていただくため、令和7年度上半期（4月1日から9月30日まで）の予算執行の状況をお知らせします。

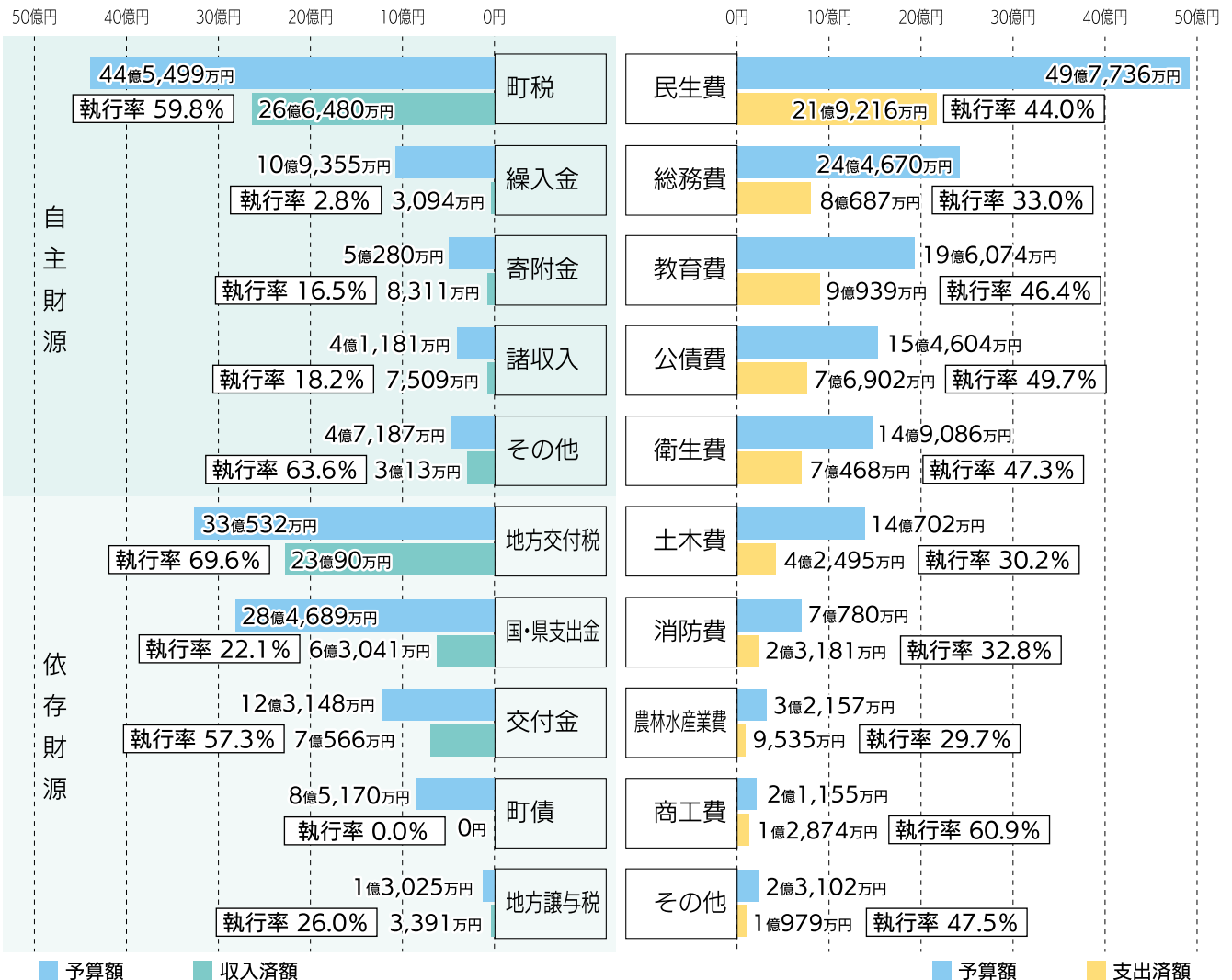
一般会計予算は、9月末までに153億66万円に増額しました。予算に対する歳入歳出それぞれの執行額と執行率の状況は、歳入が68億2,495万円で44.6%、歳出が63億7,276万円で41.7%となっています。

問 財政課 Tel.55-2278

一般会計の執行状況

歳入 収入済額 **68億2,495万円** (執行率 **44.6%**)

歳出 支出済額 **63億7,276万円** (執行率 **41.7%**)



特別会計の執行状況

会 計	予算額	歳 入		歳 出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	39億6,532万円	17億6,856万円	44.6%	16億797万円	40.6%
介護保険	33億5,524万円	17億6,243万円	52.5%	13億5,254万円	40.3%
後期高齢者医療	5億6,900万円	2億2,379万円	39.3%	2億1,522万円	37.8%

基金の状況

基金名	9月末現在高
財政調整基金	13億8,177万円
スポーツ振興基金	5億5,692万円
ふるさと柴田応援基金	4億6,949万円
学校給食センター建設等整備基金	4億3,722万円
図書館建設等整備及び運営基金	4億1,657万円
町債等管理基金	3億9,534万円
森林環境譲与税基金	2,396万円
学校教育施設整備基金	1,160万円
科学学習振興基金	504万円
特色のある教育活動支援基金	450万円
健康つながり基金	401万円
高額療養費貸付基金	400万円
さくら基金	109万円
防災基金	99万円
国保財政調整基金	1億9,147万円
国民健康保険健康づくり基金	590万円
国民健康保険出産資金貸付基金	240万円
介護給付費準備基金	5億566万円

公営企業会計の執行状況

●水道事業会計

収 入	予算額	執行額	執行率
収益的収入	12億5,213万円	6億46万円	48.0%
資本的収入	7,000万円	0円	0.0%

支 出	予算額	執行額	執行率
収益的支出	10億4,882万円	2億9,035万円	27.7%
資本的支出	5億7,699万円	8,361万円	14.5%

●下水道事業会計

収 入	予算額	執行額	執行率
収益的収入	12億6,890万円	5億1,470万円	40.6%
資本的収入	8億316万円	9,402万円	11.7%

支 出	予算額	執行額	執行率
収益的支出	11億9,373万円	1億4,797万円	12.4%
資本的支出	12億4,614万円	3億14万円	24.1%

財産の状況

財産種別	9月末現在高
土地	3,335,037㎡
建物	149,090㎡
有価証券	1,569万円
出資による権利	48億2,764万円

主な取得財産

出資による権利：みやぎ県南中核病院企業団出資金
1億2,103万円



健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シーズ127

今月のテーマは、

「よく噛んで食べよう」です。

『ひみこのはがいーぜ』という標語をご存知ですか。弥生時代の卑弥呼は、現代人より約6倍も噛む回数が多かったとされ、よく噛むことの大切さを伝える標語として使われています。

子どもも大人も、よく噛んで食べることでさまざまなメリットがあります。

ひ

【肥満の予防】

よく噛んでゆっくり食べると、満腹中枢が刺激され、満腹感が得られます。食べ過ぎによる肥満を防ぎます。

み

【味覚の発達】

よく噛んで味わうことで、食べ物の味がよくわかります。

こ

【言葉の発音をはっきり】

あごや口の周りの筋肉が鍛えられ、発音がしやすくなります。

の

【脳の発達】

脳の血流が良くなり、脳の機能を活性化します。



ひみこの はがいーぜ

は

【歯の病気予防】

よく噛むと唾液の出る量が増えます。唾液の働きで、むし歯や歯周病を予防します。

が

【がん予防】

唾液の働きによって、発がん性物質の作用を抑制する効果があります。

い

【胃腸の働きを促進】

よく噛むと消化酵素の出る量が増えます。消化酵素の働きで、消化を助けてくれます。

ぜ

【全身の体力向上】

あごが鍛えられ、力が入りやすくなります。

歯科衛生士からのアドバイス

- 一口30回以上噛んで食べることを目標に、時間に余裕を持ってゆっくり噛んで食べましょう。
- きのこや根菜など、歯ごたえのある食材を追加することもおすすめです。



図健康推進課 TEL55-2160

今年の桜まつりにおいては貸切観光バス268台のうち118台が外国人専用ツアールバスなど、多くの訪日外国人観光客にお花見を楽しんでいただきました。

町民の方の中には、「日本人だと思って話しかけたら外国人だった」という体験をした方も多かったのではないかと思います。さらに、観光以外の日常生活の中においても外国人と接する機会が増えてい

ます。驚いたのは、平日、免許更新のために自動車学校に行ったところ、若い人のほとんどが外国人で、日本の自動車運転免許証を取得するために来ていました。彼らは外国人技能実習制度のもとで、仙南地域の製造工場で働いているとのことでした。

人口が減る中で、しかも日本の若者はきつい、汚い、危険な仕事、いわゆる3Kの職場は敬遠しがちで、こうした仕事での人手不足が深刻になっています。それを補っているのが外国人労働者です。水産業も農業もコンビニも、また介護施設においても、彼ら無くして仕事が成り立たなくなっています。

一方で、地域に外国人労働者が増えることで、日本のルールを守らないことへの苦情や、文化の違いによる戸惑い、さらには外国人による凶悪な犯罪も起きており、そのため外国人に対し、好ましく思わない

外国人問題

日本人が増えてきています。7月の参議院選挙ではこうした地域でのトラブルや治安の悪化などに対する不満や不安を吸い上げた政党が多くの支持を集めました。

しかし、彼らの労働力なくしては、わが国の産業や日常生活はもはや成り立ちません。そもそも彼らが日本で就労する目的の一つに、技術や知識を学び、帰国後は、母国の発展に寄与したいという思いがあります。それを安価な労働力としか見ない一部の経営者や、外国人に対する誤解や偏見をおおる人たちによって、相互に不満や不信感を抱くようになってしまったことが、外国人問題が発生する要因となつていてのではないのでしょうか。

排外主義を主張する前に、日本人が本来持っている和の精神や、思いやりの心をもって、彼らの夢を叶えられるようにすることで、対立や分断を助長しない社会が築けるのではないかと思います。

日常生活の中で、まだ外国人と接する機会が少ない地方においては、やはり地域社会で受け入れられる人数を考慮した上で相互交流を進め、お互いの文化や考え方を理解することから融和を図る必要があるのではないかと思います。

柴田町に住む外国人の方が、地域社会の一員として安全安心に生活し、好印象を持って自国に帰国してもらえようようにしたいものです。

しばた歴史探訪

第33回 明治の小学校事始め(2)

今回は、小学校の校舎のお話でした。今回はその中身、先生と子どもたち、そして教育内容の話です。小学校がつくられた前後を見てみましょう。

柴田町域にあった、庶民の子が通う寺子屋や武士の子が通う私塾の数は、船迫が1、船岡が5、四日市場・入間野(槻木)・入間田・葉坂・成田が各1でした。そこで学ぶ子の数は、1260人、このうち女子は一割強。女の子には、読み書き算盤(そろばん)も必要ないとされていたでしょう。

小学校開校後、中名生・船岡・槻木・入間田の各校に在籍した児童数は、329人。寺子屋時代の三割に満たない数です。そして、女子児童の数も一割強のまま。実学重視の寺子屋と違い、小学校には新しい国を支える国民をつくるという課題があり、学則もしっかり定まっています。子どもも重要な働き手だったこの時代、修業年限が4年間というのは、農家にせよ、商家にせよ痛手だったに違いありません。さらに、その間の教育費の支出もあります。現金収入の少ないこの時代には、負担だったかもしれません。

教え手、教員となつたのはどういった人々だったのでしょうか。船岡小学校を例にとれば、男子105人・女子5人の児童に対し、2人の先生が教授しました。遊佐清吉(士族)が読書(先生にならって教科書を音読し、その内容を理解する教科)と習字を教え、入間田隆五郎(農民)が算術を教えました。他の小学校では、お坊さんや神主さんなどが中心となつていなかで、この2人は新しい教員養成学校に学んで、地元に戻り、郷土の教育に貢献しました。

問 しばたの郷土館

TEL 55-0707



教科書『地理初歩』

まちかど NEWS

曼珠沙華まつり開催

NEWS

第13回しばた曼珠沙華まつりが9月20日(土)から10月5日(日)まで船岡城址公園で開催されました。来園者は満開の曼珠沙華を背景に記念撮影をしたり、花を写真に収めたりと思いいに散策を楽しんでいました。

また、特設ステージではジャズ演奏やキッチンカーの出店もあり、まつりを盛り上げました。



深紅の花が公園を覆います

高齢運転者交通安全講習会

NEWS

9月29日(月)、高齢運転者の交通事故を防ぐため、仙南自動車学院と大河原警察署の協力を頂き、65歳以上の高齢運転者のための交通安全講習会が行われました。

参加者の皆さんは、狭路通行・車庫入れによる運転技術の再認識や交通安全教育車を用いた身体機能判断、75歳以上の運転免許保有者が受ける認知機能検査の体験を行い、自分の運転特性について再認識していました。



交通安全教育車の機器で身体機能を客観的に判断



うまくキャッチできたかな

熱戦に沸いたドッチビー大会

10月5日(日)、船迫小学校体育館で船迫地区の7つの子ども会の児童とその保護者約200人が参加して、地区対抗混合ドッチビー大会が行われ熱戦を繰り広げました。

今年で45回目を迎えた大会は、船迫地区子ども会育成会が主催しているもので、子ども会行事の一大イベントです。

今年の優勝チームは新生若葉A地区で、トロフィーが贈られました。

広告

広告

俳句

復興の石組み護岸小鳥来る
散紅葉石庭に波生まれけり

齊藤 善則

道の辺に猫の碑三基落葉期

鈴木 三山

秋深しシャツの上から聴診器

鈴木 清子

うとうとふはり薪ストーブの余熱

鈴木 幸子

レトロ柄着こなす乙女文化の日

芳賀 紀子

億千の鈴鳴らす如こおろぎ夜

鈴木 幸子

黄金の剣の如きほんによかな

鈴木 さちこ

記念日に亡き夫偲ぶ秋の夕

安藤 節子

合唱の響くホールや秋麗

中野 西範子

七五三かわいい唇紅を引く

阿部 弘子

タマゴ茸おそろる恐ると食べにける

西船迫 安ヶ平奈津枝

川柳

敬老会馴染みの顔が少し減り

北船岡 日下 功

この夏は男の人も日傘さす

西船迫 後藤 文子

秋になりほのかな香り金木犀

船岡 阿部美代子

町長の流したあせは我らふく

北船岡 星 正

雨の中散歩しながら冥想し

西船迫 安ヶ平良三

短歌

桜季に燕訪れ小育てに

榎木

平間 三郎

待望果し立秋に故郷帰り

榎木

平間 三郎

登山家の健郎君が滑落す

船岡

可沼 妙子

K2西壁未踏峰にて

船岡

下浦 智子

気がゆるみセクハラ好きのオジサン達は

西船迫

下浦 智子

公表されし後の祭りなり

西船迫

鳥井崎

娘来る妻と三人俳談義

西船迫

八乙女由朗

声高に拳ぐれば叶う祈りかも

上名生

八乙女由朗

虫たちが鳴く秋の宵の口

上名生

八乙女由朗

九カ月かけ応募作品仕上げしと

西船迫

星 裕子

まぶしき笑顔アーティスト邦助氏

西船迫

星 裕子

友人と暫くぶりて再会を

上名生

平間 純子

話がはずむよ昔のように

上名生

平間 純子

口ちびるに一粒のぶどう指で押す

榎木

白石 光子

甘き香りが渦巻れていく

榎木

白石 光子

高齡の運転講習参加して

榎木

田中 ちえ

自分の衰え再確認

榎木

田中 ちえ

薬局の忘れものの籠の中

榎木

伊藤タイ子

「ここにあったか」おもはず声す

榎木

森田 眞六

いつの間に家族となった猫のレオ

榎木

遠藤 麗子

孫のコトバに知らんぶりして

榎木

遠藤 麗子

長々と小春日和に地域猫

榎木

遠藤 麗子

心通じる仲となり

榎木

遠藤 麗子

酔芙蓉たおやかに咲く一日花

榎木

遠藤 麗子

一日一生を切に生きをり

榎木

遠藤 麗子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで11月10日(月)までご応募ください。紙面の都合上、掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。(お一人さま1作品まで) 問まちづくり政策課 Tel 54-2111

広告

広告

広告

広告

柴田町図書館からのお知らせ



朗読会

図書館司書が小説等の朗読を行います。「聴く読書」を楽しんでみませんか。

日時 11月2日(日) 14:30～15:30 場所 柴田町図書館 申込 不要

11月のおはなし会

絵本の読み聞かせや紙芝居などをします。

日時 11月8日、15日、22日、29日

毎週土曜日 11:00～11:30

*1日は、しばた茶会会場準備のため、お休みします。

場所 柴田町図書館



絵本の世界へ引き込まれます

よちよちおはなし会

図書館司書による0・1・2歳児向けのおはなし会です。

日時 11月19日(水) 11:00～11:15

場所 柴田町図書館

読書会 11月のテーマ「言語の本質」

本の感想や、本を読む喜びや楽しさを一緒に語り合う会です。

2024年新書大賞受賞作『言語の本質』（今井 むつみ・秋田 喜美 著、中央公論新社）を読んでご参加ください。

日時 11月16日(日) 14:30～15:30 場所 柴田町図書館

《柴田町図書館》(しばたの郷土館内) TEL86-3820 FAX86-3821 Eメール :library@town.shibata.miyagi.jp

◆開館日/火曜日～金曜日 10:00～19:00 土・日曜日、祝日 10:00～17:00

◆休館日/月曜日・第4木曜日(祝日の場合は開館し、翌日が休館)

《槻木分室》(槻木生涯学習センター内) TEL87-8290 FAX87-8293

◆開館日/火曜日～土曜日 10:00～17:00

◆休館日/日曜日・祝日・槻木生涯学習センター休館日、第4木曜日(祝日の場合、翌日も休館)



図書館ホームページ

広告

広告



柴田町 LINE 公式アカウント

イベントや防災・防犯情報など、生活に役立つ情報をお届けします。

二次元コードを読み取り、友だち追加してください。

問まちづくり政策課 TEL54-2111



広告

人口と世帯数
(令和7年10月1日現在)



36,065人
(前月比41人減)



17,922人
(前月比25人減)



18,143人
(前月比16人減)



16,429世帯
(前月比8世帯減)